

○ 施工写真



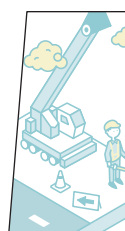
お問い合わせ【営業日】8:30～17:30 土日祝除く

■インフラセグメント本部
■資材営業課
■北信営業所
■東信営業所
■中信営業所
■南信営業所
■関東営業所

〒381-0001 長野県長野市赤沼柳橋 2276-2
〒381-0001 長野県長野市赤沼柳橋 2276-2
〒381-0001 長野県長野市赤沼柳橋 2276-2
〒386-0004 長野県上田市殿城 3726-1
〒390-1131 長野県松本市今井 6960-1
〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 5450-22
〒362-0072 埼玉県上尾市中妻 4-2-2 ウエルズ上尾

TEL: 026-296-9003
TEL.026-262-1544
TEL.026-262-1544
TEL.0268-26-1722
TEL.0263-88-9411
TEL.0265-85-3061
TEL.048-783-3346

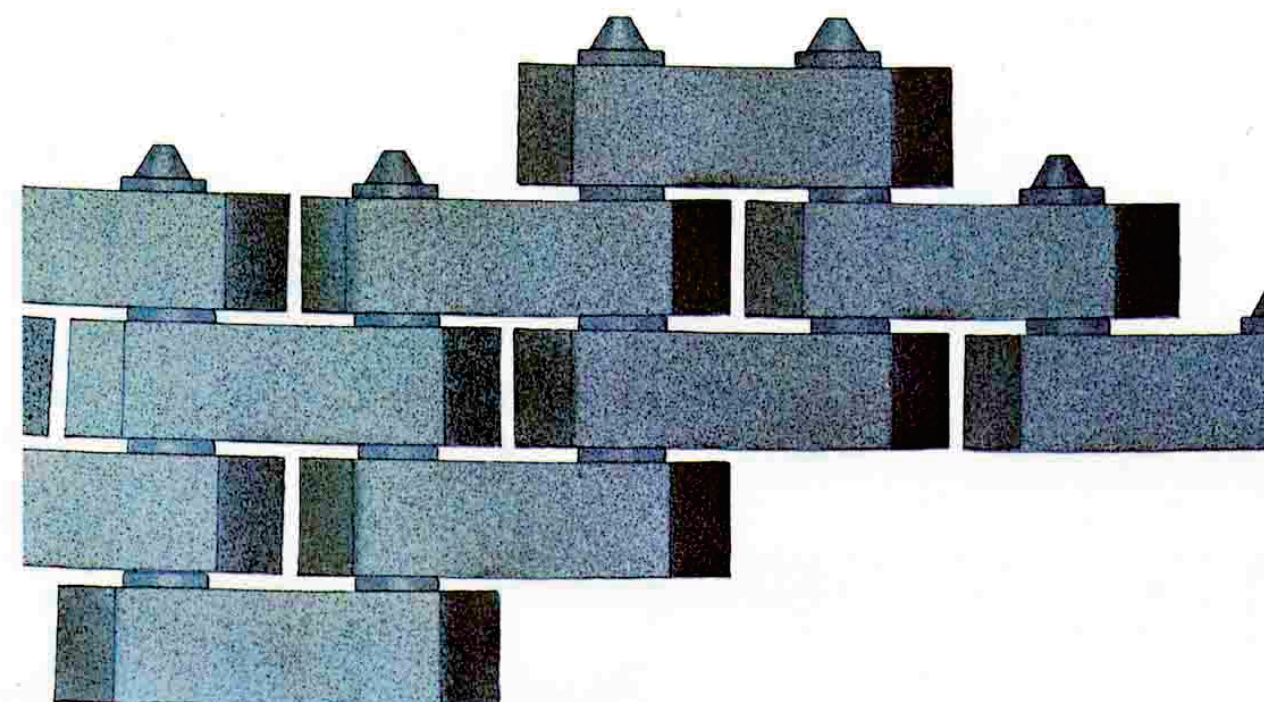
FAX: 026-296-3532
FAX.026-262-1545
FAX.026-262-1545
FAX.0268-26-1070
FAX.0263-88-9410
FAX.0265-85-4586



美しい山河を守る多自然型連節ブロック
ーテラフィックスー

terrafix®

Interlocking Concrete Block Systems



テラフィックス terrafix®とは？

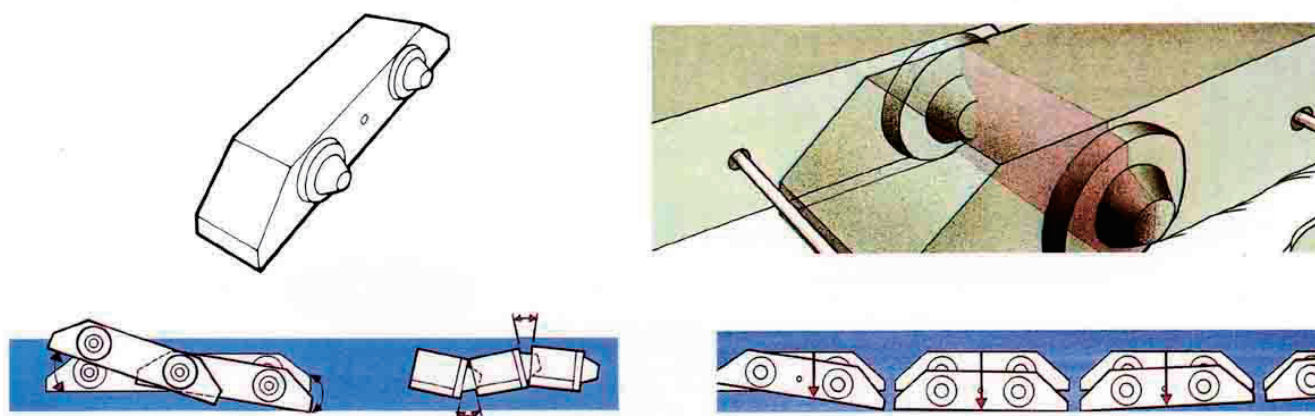
連節ブロック護岸工法は、多自然型護岸工法として適しており、また、建設コスト縮減対策としても最近見直され始めてきております。

このことは、建設省河川局防災・海岸課が平成10年5月に編集した「連節ブロック護岸工法－設計・施工技術基準－（試行案）」の冒頭にも書き記してあります。

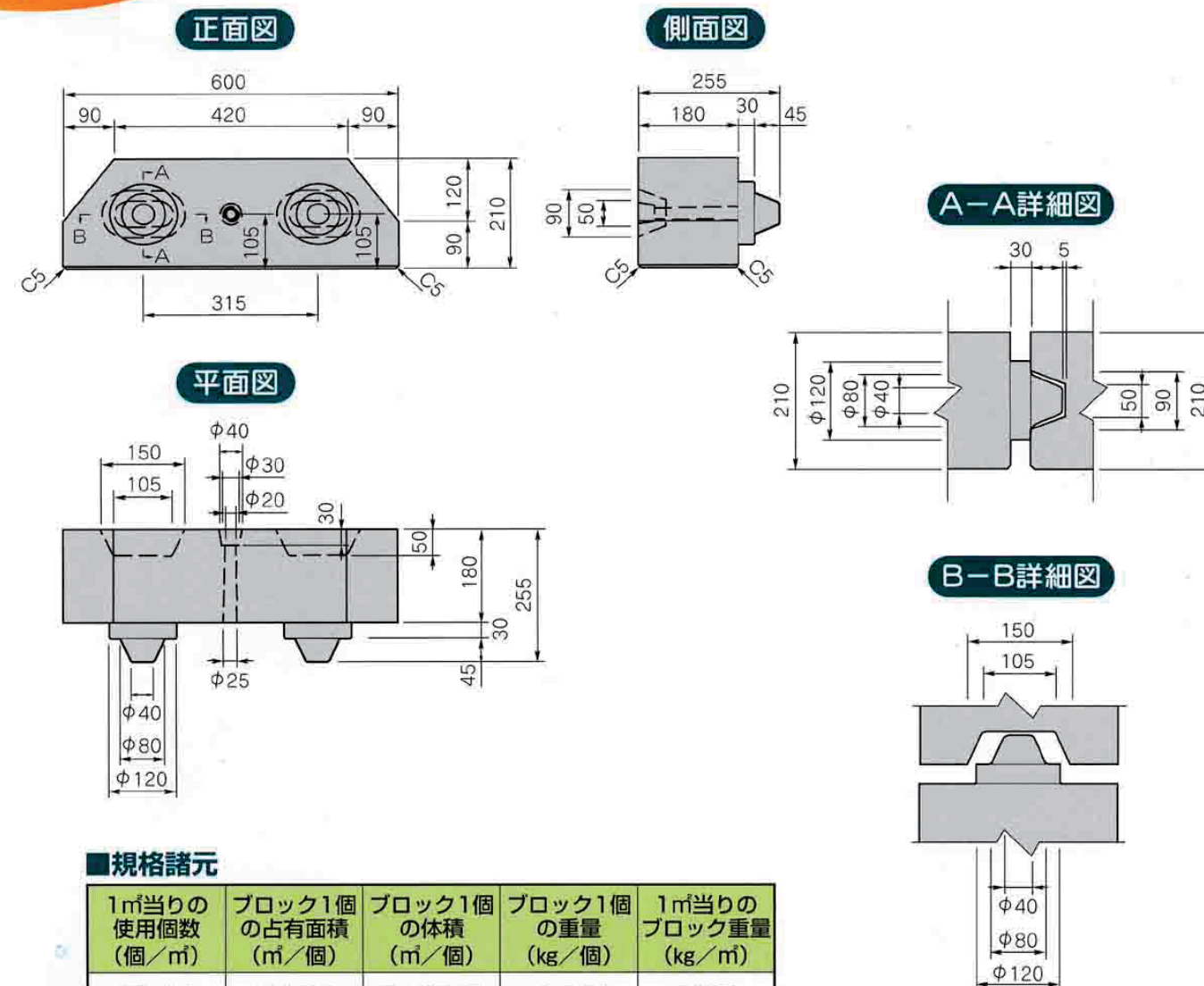
「テラフィックス」は、従来の連節ブロックと同等の法面被覆保護効果を持ちながら、植生の復元・環境保全に対する機能と、施工効率を大幅にアップさせた、まさに、時代ニーズに答えを出す新製品です。

特 長

- 1 ブロック相互の目地は縦横それぞれ30mm空きます。このメッシュ状になった目地により、植生の復元力を高めます。
また、縦目地においては、施工後の植物の成長に合わせ、ブロックが左右に動くことが可能で、最大95mmまで広がることができます。
- 2 ブロック相互の連結は、45mmの円形状凹凸構造によるかみ合わせ連結と、胴体を貫通する1本の連結線で連結されます。個々のブロックには、十分なフレキシビリティ（柔軟性）があり、現地形にピッタリ追随できます。
- 3 ブロックは、現場状況に合わせ、裏面・表面リバーシブルに使用できます。
- 4 連結線が1本であること、また、連結線はブロック胴体を一個おきに貫通させるため、施工効率が向上します。
- 5 寸法が600×180（mm）の横長形状ブロックで配列された護岸は、今までにない幾何学模様となり、覆土をしない場合でも優れた構造美を発揮し、周囲の景観とよく調和します。



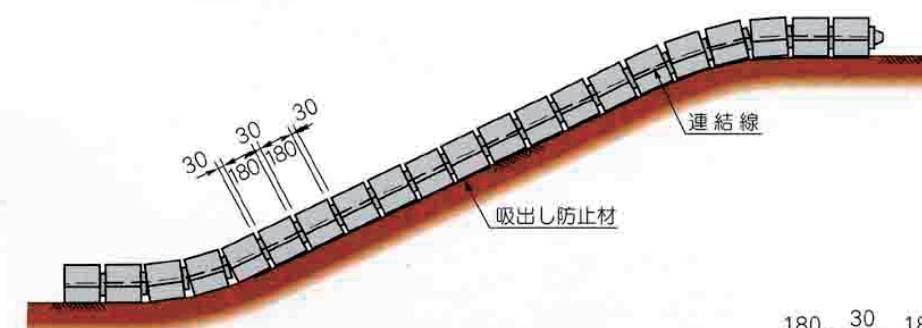
規格寸法図



規格諸元

1㎡当りの 使用個数 (個/㎡)	ブロック1個 の占有面積 (㎡/個)	ブロック1個 の体積 (㎡/個)	ブロック1個 の重量 (kg/個)	1㎡当りの ブロック重量 (kg/㎡)
7.56	0.132	0.0207	47.6	360

側面図



展開図

